

令和4年度 第2回 経営協議会議事概要

日 時 令和4年6月8日(水) 13:30～14:30

場 所 特別会議室

出席者 別紙のとおり

本学の活動状況について

学長から、「本学の活動状況」について、資料に基づき報告があった。

議題

1. 令和3事業年度財務諸表等(案)について

(議題1の別紙)

理事(総務・財務担当)から、文部科学省に提出する令和3事業年度財務諸表等(案)について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

なお、学外委員から、以下のとおり意見等があった。

- ・国からのコロナ対策補助金が前年度より削減されたことが資料からも確認できるが、これは貴学だけでなく、全国的に削減傾向である。しかし、依然としてコロナ対策を施しつつ、コロナ禍前のように授業を行うことは、以前の倍近い労力と経費がかかることが予想されるが、そのことについてはどのように考えられているか。
- ・「損益計算書」中の「寄付金収益」及び「施設費収益」の相手先はどこになるのか。

学長及び財務企画課から、以下のとおり回答があった。

- ・確かに令和2年度と比較すると、コロナ対策補助金は削減されている。ただし、大学の授業については、コロナ禍では遠隔授業が中心となっていた時期もあるが、現在では対面授業中心に戻りつつある。しかし、コロナ禍当初は遠隔授業が行えるように国からの補助金等を利用して多額の投資を行っており、現在はその先行投資によりハイブリッド型授業が行えている状況である。
- ・「寄付金収益」の多くは、保護者や卒業生等からの寄付による「附属学校教育振興基金」及び「福岡教育大学基金」であり、また、「施設費収益」については、「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構」及び「文部科学省」からの補助金によるものである。
- ・その他本野監事及び財務企画課から、国立大学法人会計基準の仕組み等について説明があった。

2. 令和5年度施設整備費補助金概算要求について

(議題2の別紙)

理事(総務・財務担当)及び環境マネジメント課長から、文部科学省に要求する令和5年度国立大学法人等施設整備費補助金概算要求事業について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

なお、学外委員から、以下のとおり意見等があった。

- ・老朽化が進む学校のプールの改修について、宗像市では、アセットマネジメントの考え方から、新設校での水泳の授業については、民間のスイミングスクール等へのアウトソーシングを積極的に行っている。理由としては、①プールの維持管理費の削減、②インストラクター（専門家）による質の高い授業の提供、③教員の働き方改革の推進による教育現場の負担軽減、④民間のスイミングスクール等であれば「温水プール」により夏季に限らず、1年間の中で学校の授業や行事に余裕のある時期を選んで実施することができること、等が挙げられる。
- ・建物や運動場の老朽化により、児童生徒の怪我の危険性があるとのことだが、仮に本件概算要求により予算措置がなされるにしても、相当の時間が経過することからそれまでどのように対応するのか。

学長及び環境マネジメント課長から、以下のとおり回答があった。

- ・現在でも、応急的に都度対応を行っているが、根本的な解決を図るためには莫大な予算が必要であり、そのためにも全学的見地から概算要求を行うものである。

報告事項

1. 令和4年度資金繰計画の作成について

（報告事項1の資料）

財務企画課長から、令和4年度資金繰計画について、資料に基づき報告があった。

学外委員から、寄附金等による資産運用については、今年度中の運用開始を目指しているかについて質問があり、財務企画課長から、今年度中の運用を目指すものである旨の説明があった。

【意見交換】

学長から、意見交換に先立ち、以下の3点について説明があった。

- （1）「令和3年人事院勧告」に基づき、今年度から教職員のボーナスの引き下げを行った結果生じた約3千万円の使途について
- （2）コロナ対応については、遠隔授業の実施や学生へのワクチン接種会場までの交通費補助の支給等が挙げられるが、遠隔授業から対面授業に移行しつつも、今後は自然災害等により休講措置とせざるを得なかった事態に遠隔授業による代替授業の実施や感染対策が行われている部活動であっても、部活動生による会食については感染対策が不十分である等今後のアフターコロナも見据えた大学の対応について
- （3）今年度から第4期中期目標・中期計画期間がスタートしたが、中期目標・中期計画以外にもこれを達成するための年度計画や認証評価及び成果指標に基づく運営費交付金配分制度への対応のための事業行動計画（アクション・プラン）について

学外委員から、国立大学法人の資産運用については規制が緩和されたとはいえ、未だ寄付金等の一部資金に限られていることから、他の国立大学法人とも情報共有をしつつ、専門家等にも相談をしながら運用を進めていただきたい旨の意見があった。

次回開催日 令和4年6月22日（水）13：30～

説明資料等

議題1の資料	令和3事業年度財務諸表（案）説明資料
議題1の別紙①	令和3事業年度財務諸表
議題1の別紙②	令和3年度決算報告書
議題1の別紙③	令和3事業年度事業報告書
議題1の別紙④	独立監査人の監査報告書
議題1の別紙⑤	監事監査報告書
議題2の資料	令和5年度施設整備費補助金概算要求（案）について
議題2の別紙	令和5年度施設整備費補助金概算要求を予定している事業と概要（案）
報告事項1の資料①	令和4年度資金繰計画
報告事項1の資料②	令和4年度資金推移表
参考資料	福岡教育大学の活動状況